



神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク

会報第39号

KANAGAWA Rescue Support Bike Network News

2011年2月1日号, No. 39

第39号の目次

- 1、2011年年頭挨拶 (2011. 1. 1) …矢代 幸雄
- 2、清水水害ボランティアセンター立上げ訓練報告
(2010. 11. 23) …太田 隆行
- 3、四国108ヶ所お遍路
(2010. 8. 18-31) …池田 喜由
- 4、忘年ツーリング報告
(2010. 12. 18-19) …太田 隆行
- 5、特別寄稿 中島さんよりのハケ岳便り 4編
- 6、編集後記

2011年の年頭に当たって

2011.1.1

矢代 幸雄

神奈川RBにとって、非常にうれしいお話をいただきました。
関係団体からの協力及び連携依頼があったのです。
石の上にも3年と言いますが都県市総合防災訓練に参加して
10年以上が経ちました。



当初の参加目的は訓練という意味もありますが、他の参加団体に神奈川RBを知ってもらう事にも大きな意味がありました。今後も防災訓練等を通じて更に神奈川RBの認知度を向上させる活動は継続

する必要があると思いますが今回の小田原市と県警からの話は非常に有難いことです。



これは次への第一歩とも言えるでしょう。

小田原はメイン会場としての防災訓練は2回ありましたが皆さんが防災担当者との関係を構築してくれたことが今回の連携依頼の話として芽生えた素晴らしい結果です。
結果と言いましたがこ

また県警からは、県内ボランティア団体との連携についての会議の中で神奈川RBが紹介されたとの報告を頂きました。

これらの連携がうまくいけば、前例として他の県内との連携にも発展させることが可能になるでしょう。

今年は神奈川RBにとって更なる飛躍の年になりそうですが根底となるメンバー皆さんには、健康に注意して充実した年にしていきたいと思います。

清水災害ボランティアセンター立上げ報告

2010.11.23

太田 隆行

去る2010年11月23日、静岡県静岡市清水区で行われた静岡の友好団体であります清水RBや、清水災害ボランティアネットワークが行う「清水災害ボランティアセンター立ち上げ訓練」に参加しました。

目的は静岡、清水における集中豪雨を想定して

①災害Vセンター設置初動作業訓練

②災害時要援護者安否確認および避難誘導訓練

③災害Vセンター運営シミュレーション

④グループワーク ～災害Vセンターに届くニーズの流れを考える～等でした。

行きには高速道路で横転事故に遭遇・・・

結構な事故、巻き込まれなくて良かったです。運転手の方も無事のようで何よりでしたが後続の沢田さん、夏賀さんの到着時間が気になります。



さて、本題。

↓↓↓清水災害ボランティアネットワーク大石氏の挨拶



ミーティングの後、増水を想定した市内を流れる二つの川の現地調査に向かいます。

地図を確認、現地RBの方とペアになって出発です。

出発前には赤や朱色の地域が崩落や水害の危険地域になっているという清水区の防災マップを確認します。

集落の状況、河川との位置関係が良くわかる地図を確認後出発準備。



通信手段はアマチュア無線。これも災害時に携帯電話がつかりにくいことを想定した訓練です。両河川の上流の状況を確認後本部に報告

バイク隊がそんな訓練を行っている間ボランティアセンターでは立上げ、医療機関との連携、その他の様々な訓練が行われていました。一方バイク隊東部方面視察チームは予想外の渋滞に阻まれ、訓練終了時刻に遅刻しそうな気配。

現地メンバーの先導により裏道を駆使して何とか本部に帰還しました。そんなことで訓練を終えてのメンバーの記念撮影。



バイク隊の面々です。

訓練の後は、地元の名物、「桜海老」を楽しみに（味わいに??）参ります。

↓↓↓由比の菊屋さんにて



では知りえない名店に出会うことができます。

ここ、菊屋さんも桜海老の有名な由比の街道沿いですが清水RBの方々の案内により参りました。

豪華に桜海老定食を食します。



久々の桜海老。最高でした。

帰りの高速で同行の夏賀さんが撮ってくれたものです。



自分の走行写真ってあまり無いのでうれしいですね。

半日の訓練でしたが地震や水害などの災害復旧は公的機関だけでは中々進まないものです。

今後も地道にこういった交流訓練を重ね、有事に備えたいものです。

了

四国 108ヶ所お遍路報告

2010.8.18-31

池田 喜由

「灼熱の大地に育まれた穀物は夏の終わりに枯れてしまいますが、褐色に熟したその果実は充実して硬く張り、お百姓さんの手で大切に刈り取られて今日の食卓にあります。その姿は実に誇りかではありませんか。充実して働いた後に年老いる身体にも誇りが満ちています。この身体が健康に動く限り、最後の瞬間まで仏様に代わって働く。」



これは、八十八ヶ所巡りの第一番霊場、霊山寺の案内所で頂いた巡礼小冊子に書かれていた言葉の一部です。

一番札所霊山寺参道にて

以前から望んでいたお遍路、この度友人からの誘いにそれこそ大した覚悟や思いを持つことなく乗った。実にいい加減と言えいい加減である。



8月の後半、今年の夏は異常に暑い、その最中、約2週間掛けバイクで廻った。友人は地理に滅法強い、更にお坊さんと言っても誰もが信用するほど作法やお経に長じている。私に取ってこの上ない先導者である。

表題の108ヶ所巡礼は、通常の88ヶ所巡礼に番外霊場20寺を加えたものである。

寶幢山 香西寺



東京から徳島迄、高速道路を使い一日で移動する。鳴門市の一番霊場直ぐ前で営みをする遍路宿、“かどや椿荘”には、未だ日も高い4時頃に到着。それにしても暑い。この炎天

下、約2週間の走り詰めは大丈夫だろうか。一抹の不安が脳裏をかすめるが、もともと楽天的な性格（いや、慎重に欠けると言ったほうが当たっている。）である。そんな不安は何時の間にやら忘れる始末。だがここで打ち明けておこう。バイク（とりわけ重い、大きいバイク）での真夏のお遍路は正に修業であることを。見事に快晴に恵まれた巡礼期間中、よくも熱中症で倒れなかったものだと、今振り返り、冷や汗が出る。



大瀧寺にて

四国お遍路は、徳島を発心の道場、高知を修業の道場、愛媛を菩提の道場、香川を涅槃の道場と言われている。筆者の発心の道場めぐりは、

巡礼の何たるかもおぼつかないまま、それでも友人の導きのお陰で順調に過ぎた。何処の遍路宿も比較的空いている。それでも必ず数組の遍路客と同宿になる。簡単なお挨拶と、何処からおいでになったのか、動機などを軽く言葉を交わす機会も多い。そこで目の当たりにするのは、実に幅の広い年代層、その事情も様々。改めて仏の衆生を救う真言を見る思いだ。そして、その信仰の様も千人千通りであることも、生物の多様性を感じずにはいられない。

修業の道場（高知）に入った。だが筆者には心境の変化は殆ど感じられない。相変わらず、霊場から霊場への移動とお勤めで精一杯だ。これが無心、虚心、何も考えない、自らの見つめなおしになる訳だが。土地の大学生だと言う3人娘、80才で奥さんの霊を弔う為小型バイクで廻っている男性、川崎からやってきた定年を過ぎたと思われる歩き遍路の御夫婦、富山から車でやってきたやはり定年を過ぎた御夫婦、姫路から大型アメリカンバイクでやってきた実業家青年、親父の言葉に刺激されての巡礼らしい、東京八雲から空路で四国入りしレンタカーで巡礼している母娘、そこにはあらゆる人生のドラマがある。

5日目、遂に菩提の道場、伊予の国、愛媛県に入る。迷いから目覚めただろうか。そんな悟りには程遠い自分が情けなくもなる。一度の巡礼で全てが悟れるなど凡夫の最たる筆者には土台無理なことだ。素直に小さな悟りで満足し、さらなる悟りの境地を求める人生の旅を続けよう、と自らを慰めるのである。9日目、最後の道場、涅槃の道場、讃岐の国に入る。筆者の心中は相変わらず涅槃など無常の彼方にある。お勤めの

般若心経も未だに教本を見なければ唱えられない。だが経を唱える際に、心の中の違和感が薄らいだ気分になったのは、進歩だろうか。中年を過ぎる頃迄、経を読む自分など考えも及ばなかった。我を捨て人の為に生きる、働くことに意義を見出し、身体の衰えに惑いや恐れを感じず、誇りを持てる心境に近づくだろうか。



徳島県脇町うだつの街並み

108ヶ所巡礼、駆け足だったが炎天下11日を要した。正直言って回っている間、巡礼の意味や、自身を見つめ直す暇

はなかった。それでもこの時間は決して無駄ではなかったと確信している。何よりも、同行してくれた友人、そして多くの人々の暖かい支援や心遣い、お接待のお陰で最後まで辿り着くことができた。



若い頃は宗教に懐疑的であった。しかし齢を重ねるに従い、宗教の建設的意味を見出すようになった。精神の安定、衆生の為の奉仕心、身体の衰えにたいする不安や恐怖からの脱却

、これこそ尊い仏の導きではなかろうか。KRBの活動も、この社会に奉ずる精神に似た原理で動いているように思うのである。

感謝。

忘年ツーリング画像報告

2010.12.18-19

太田 隆行

冬の晴れた日。副代表・後藤さんの発案で一周年を迎える伊豆のバイク宿、「BIKEPACK」をたずねるツーリングに参加しました。

神奈川RＢのメンバーとのツーリングは久しぶりでした。

神奈川RＢのメンバーと忘年会を兼ねてのツーリング。



目指すは西伊豆です。

メンバーはまず秦野中井のPAに集合です。

中井のPAに集まったのは7名。

もう一人は御前崎より夕食で合流とのこと。

各自、無線の周波数を確認し合って出発です。

きれいに隊列を組んで走行。天気も良く、気持ちも爽やかに出発しました。



沼津で高速を降り戸田に向かいます。

私の走行風景、撮って頂きました。夏賀さん、ありがとうございます。

そして昼食は戸田の「魚清」 戸田の湾内はとても美しい。



店内には名物の高足がにがウジャウジャ。

私はお刺身定食を頂戴しましたがそれぞれに煮つけ、焼き魚、焼きえび、深海魚などを堪能しました。



そして土肥温泉を通過中伊豆に向かいます。

走行風景・・・ 良く撮れますね。



途中、展望台にて休憩



皆のバイクたち。



そんなことで走りながら今日の宿へ。

宿は「BAIKEPACK」

RBメンバーの後藤さんの職場の先輩にあたる方がオーナーだそうです。

。

オーナーの柏崎さんは主にツーリングライダーのための簡易的な宿泊施設——という建前ですが、ライダーのみならず伊豆・箱根観光や天城登山、釣りなどの一般旅行者など、どなたでも、一人でも気軽に来られるような。というコンセプトで営業を始められたそうです。

本人曰く、「上げ膳据え膳」の民宿・旅館とは違います。小洒落たペンションとも違います。

正にコンセプト通りの宿でした。



A photograph of Mount Fuji, Japan, showing the snow-capped peak rising above a forested ridge. In the foreground, the roof of a building is visible.

私の出発風景。



残ったメンバーは更に中伊豆、東伊豆へ出てツーリングを楽しんだようです。



A photograph showing a person wearing a blue jacket and a white helmet riding a red motorcycle on a red-paved road. The road has white lane markings. In the background, there is a white guardrail, a traffic light, and a clear blue sky. The image is slightly blurry.

等々。

特別掲載

中島さんよりのハケ岳便り

ハケ岳・中島さんより特別寄稿4件を頂戴いたしました。

<店と地域ボランティア活動について>

まず初めに平成22年度・神奈川RB.の活動に敬意を表します。

そして様々な訓練活動において事故無く安全を第一に参加された皆さんにはボランティア活動の基本条件を充分理解されていることに感心させられました。

昨平成22年7月にはここハケ岳南麓に「お好み焼き・おにがわら」を開業して家内共々、無事10周年を迎えることが出来ました。

遠路各地から神奈川RB. 関係ボランティア皆様のご来店と心強いご支援、地元を初め全国、時には韓国、イギリス、スイス、アメリカなど各国からも沢山のお客様をお迎えする事ができました。

「てっぱんを磨いて山の上にも10年!!」あらためて皆様に心より感謝を申し上げます。

平成23年度は家内と娘が「てっぱん」の前に!!

私は裏方・後方支援として当面店の奥で仕事を続ける事にしました。これからも皆様が変わらないご支援をお願い致します。

さて一方、山でのボランティア活動は年齢と共に現場活動から後方支援にスタンスを移しつつ多忙な一年を送りました。

幾多の活動の中でも地元の中学・高校で秋に開催される全校一斉の長距離マラソンでは(地元では強行遠足と呼んでいます)バイク救護隊として11年間継続する事ができました(近年は安全のためにフィットで)。また地元・峡北消防本部の応急手当普及員として地域住民や近隣の観光施設(ホテル、ペンション、温泉施設、飲食店など)職員に対して救急救命士さんご支援の下で5回(参加者約150名)の講習会も実施できました。

これからは店の傍ら地域での救命ボランティア活動の輪を広げていく予定です。

<沖縄への活動支援>

一昨年から毎年店の冬期休業中に厳冬のハケ岳から沖縄にひと月ほど体調管理と特に沖縄本島北部で運行されている国内唯一の民間基金で運営されている「ドクターヘリ・MESH」の基金造成活動の支援のために出かけています。本島最北端の国頭消防本部を表敬訪問して出逢った職員で救急部門を担当されていた方から医療施設過疎の北部エリアでは救急要請から病院まで何と救急車で最長約100kmほどの距離を2~3時間かけての搬送が頻発していたところ3年前より名護市に拠点病院のある民間ドクターヘリ「MESH」が活動開始、離島からの救急搬送を含めて年間200名を超える救命活動の実績を重ねて当該エリアの救急活動に素晴らしい光をみたところ、資金不足で途中1年間の活動休止。一昨年2月に訪問した時は「MESH」ヘリは飛行していませんでした。何と2~3時間掛かっていた救命活動がヘリでは15分でドクターが現場に到着、時には現場で開胸手術を実施してから病院搬送するビデオをも拝見しました。これからもはるかハケ岳の空からヤンパル(山原)の空にエールを送り続けて行きたいと思います。この会報をご覧戴いた皆さんにもご支援を戴ければ幸いです。

(活動の詳細はインターネットHP、「NPO法人MESHサポート」をご覧ください)

今年度は3月で活動休止になり兼ねない状況のために12月中旬には店に置いた募金箱の寄金を沖縄に届けてきました。2月も沖縄を訪ねます。

<写真・空港消防車>



昨年2月沖縄訪問の途中で第83隊航空自衛隊の司令をされている方のご案内で那覇基地を見学させて頂きました。

F15ファントムのコックピット内をはじめ施設内(写真は撮れません)を、そして唯一写真を撮らせて頂いたのが那覇空自の管理する消防車両です。運転席からは滑走路に向けて放水操作もさせてもらいました。神奈川RB.のメンバーでありボランティア活動の内容を話しますと皆さん大変な関心を以ってエールを送ってくれます。誇りに思います。

<冬眠中のバイク>



昨春3月はじめ店に戻って開店準備を始めた矢先に写真のような大雪に見舞われました(3月10日)。バイクはまだまだ冬眠中です。

さらに3月20日に開店した後、4月中旬に20cmの大雪に見舞われました。

この会報が発刊される総会時期の2月は厳冬の最中です。

このような自然の厳しい時期に大きな災害が発生したら如何に行動するか?私の最大の課題です。

機会がありましたらまた、ハケ岳便りをお送りします。

本年も会員皆様、関係団体皆様の安全な活動とご健勝を祈念致します。

編集後記

2011年が明けました。久々の会報作成、歳を取るといういろいろなことを忘れてしまうものですね。「髪抜け、歯抜け、記憶抜け」とは良く言ったものです。このところの物覚えの悪さには自分でもいやになります。

…ってこんな愚痴で新年を迎えるようでは駄目ですね。前向きに、前向きに。



私事ですが、7年間の単身生活が中断し、再び神奈川の地に戻って参りました。メンバーの方々も大分替わり、以前とは異なる活気を感じます。思えば私が神奈川RBIに入ったきっかけは阪神大震災を赴任先の大阪で体験したから

ですがこの7年の単身生活の中で中越地震を群馬で、岩手宮城内陸地震を仙台で体験し、現地でその復興を見つめる機会を得ました。

来るべき神奈川西部地震や東海地震に備えそれらの経験を活かした活動を進めたいものです。

話は戻って、神奈川には2ヶ月に一度くらいしか帰れませんが、幽霊会員のようになってしまった自分ですが、久々の参加を快く迎えていただいたメンバーの方々には感謝です。

また途中で投げ出した会報業務を受けていただいた大畠さんにも感謝いたします。今号は私が作成しましたが今後も出来る限りお手伝いをしたいと思います。



今年は心機一転、少しバイク生活に親しみ、そしてそれを楽しもうと思っている次第です。

きっとその延長に自分にも出来ることがあるのだと思います。

それでは事故の無い、災害の無い良い年を祈念して。(お)

神奈川RB事務局

代表: 矢代幸雄、事務局長: 手塚則生

郵送先: 〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2

かながわ県民活動サポートセンターレターケース No.81

Fax: 045-312-1862 (取次ぎ: レターケース No.81 宛て)

URL: <http://www.kanagawarb.org/>

バイクによる災害時救援活動支援ボランティア

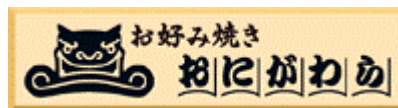
神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク会報(年4回発行)

発行者: 神奈川RB会報担当 太田隆行

[illegible]

神奈川RB会報発行にあたりまして、お好み焼き「おにがわら」様のご支援を頂いております。みんなで行きましょう！

今は冬休み中です。



関西風・広島風 お好み焼き お「に」が「わ」ら

店主: 中島信義 山梨県北杜市大泉村 Tel: 0551-38-4030

JR小海線甲斐大泉駅北約1.5km・ダイヤモンドハケ岳ホテル前

営業日・時間 11:30~14:30、17:30~20:00(火・水・木定休)

※念の為営業を確認の上お出かけください。

http://www010.upp.so-net.ne.jp/oni_gawara/index.htm